

とんがらし通信

あたたかい光に照らされて

幻想的なひととき...

 No. 255 

～主な内容～

- ・施設長コラム ・すてーじ
- ・つどいの家実践発表会 ・研修報告
- ・活動紹介(キャンプ、サイクリング、りんご狩り、
奈美まつり)
- ・Close-up! ・職員コラム ほか

仙台つどいの家編集室
発行責任者 山口 収
発行日 2022年1月25日
〒983-0836 仙台市宮城野区幸町3丁目12-16
Tel 022(293)3751 Fax 022(293)3752
E-mail sendai@tsudoinoie.or.jp
ホームページ <http://www.tsudoinoie.or.jp>



忖度の行く末は… の巻

2021年の流行語大賞はロサンゼルスエンゼルスの大谷翔平選手の『リアル二刀流／ショータイム』でした。投手としても打者としても大活躍で、世界中の人々に大きな影響を与えたことを考えると、当然と言えば当然ですねえ。この流行語大賞、その年・その時代の世相を反映していて、とても興味深いものです。たとえば…。1985年は『イッキ！イッキ！』。当時大学生を中心に一気飲みが流行っていたのですねえ。今こういうことをすると『アルコールハラスメント』と言われそうですが。。2008年は『アラフォー』、2013年は『お・も・て・な・し』。調べてみると、その頃の社会の様が思い出されます。

さて本題。2017年の流行語大賞は『忖度』でした。本来は『相手の気持ちを思いやる・慮ること』という意味ですが、この年起こった『森友学園問題』でこの言葉がクローズアップされ、『政治の世界で権力者の意をくみ、媚びること』というようなイメージが世間に浸透していきました。昨年末、この『森友学園問題』に大きな動きがありました。

そもそも『森友学園問題』とは、国有地を管理する財務省近畿財務局が学校法人森友学園に対して、2016年6月に国有地を払い下げたところから表面化します。当時の土地の評価額は9億5,600万円であったのに対して、払下げ価格は1億3,400万円というものでした。森友学園の籠池理事長夫妻は、この土地で『瑞穂の國記念小学院』を開校する予定でした。そしてこの小学校の名誉校長には当時の安倍首相夫人・安倍明恵氏が就任していて、籠池理事長と近畿財務局の払下げ交渉の中で、明恵夫人の存在が不当な値引きに大きく影響したのではないかとの疑惑が表面化したのです。さらに、財務省で理財局長を務めていた佐川氏が『売買契約の締結をもって事案は終了した。記録は速やかに廃棄した』『近畿財務局と森友学園の交渉記録はない』と国会で答弁したことから、疑惑は深まっています。結局『廃棄した』とされたこの土地取引に関する公文書はのちに国会に提出されることとなりますが、その後の追及によって財務省は、安倍首相夫妻の関与が疑われかねない記述を削除していたことを認めます。

この文書改ざんを指示され実行した、当時近畿財務局の赤木俊夫さんは2018年3月に自ら命を絶ちました。財務省本省からの執拗な改ざん指示に抗いながらも犯罪行為に手を染めざるを得なかった自責の念と、おそらくは全てを明らかにすることでこの国の過ちを正したいという思いからの行動だったのではないのでしょうか。赤木さんは一連の改ざんの過程を詳細に記録した『赤木ファイル』を遺していて、のちに妻の雅子さんによって国と佐川局長を相手取って起こされた裁判では重要な証拠になります。ファイルからは、財務省本省から改ざんに関する詳細な指示のメールが次々と送り付けられた事実や、国会答弁に合わせる形で改ざんを進めるよう佐川局長から指示があったことなどが読み取れます。そして、最後まで決裁済みの文書に修正を加えることに抗い続けた、赤木さんの強い思いが伝わってきます。裁判の中で雅子さんはこのファイルの開示を一貫して強く求めてきましたが、ファイルが開示されたのは裁判が始まってから1年以上も後のことです。

昨年12月15日、国と佐川局長を相手取ったこの裁判は国の『認諾』という形で突然終結しました。雅子さん側の請求を全面的に認める形で、国は強引に幕引きを図ったのです。赤木さんの思いを引き継ぎ、すべてを白日の下にさらすことを目的に提訴した雅子さんの気持ちはこうして踏みにじられました。雅子さんは国のこの姿勢に、『夫は国によって二度殺された』と憤りをあらわにしています。

この国はこのままでよいのでしょうか。『相手を思いやる気質』とか『行間を推察する文化』といった、元来日本人が大切にしてきたことが、『権力に与し、媚び諂う』と曲解される今のこの国を、何とか変えていく手立てはないのでしょうか。2021年最後の日に、そんなことを考えながらこの原稿を書いています。

(管理者 山口 収)

仙台つどいの家 「すてーじ」開催しました！

12月14日、仙台つどいの家で毎年恒例となった『すてーじ』を開催しました。

『すてーじ』は、仙台つどいの家の利用者の方一人ひとりにスポットを当て、日頃の活動や支援の取り組みを映像にまとめてお伝えすることで『しょうがいのある方が主体的に生きること、そのために必要なことは何なのか』ということに参加者の方と一緒に考えていくイベントです。



例年は大きな会場で多数の方にご来場いただくのですが、今年は新型コロナウイルスの影響により、昨年に引き続いてオンライン配信を使用した形での開催となりました。今年度は以前に作成した作品2本のほか、新たに『櫻井賢治さん』の作品を上映しました。

賢治さんは普段、服薬の影響により眠気が強いものの、しっかりと自分の意思を表情や発声、身振りでこちらに伝えてくれます。特に好きなもの（コーヒーなど）に対する思いは目を見張るものがあります。

仙台つどいの家では以前から『賢治さんが望む活動を行なってほしい・こちらの思いも伝えたい』という考えをもとに、コミュニケーション支援（コミュニケーション・エイド等使用）や、「コーヒー新聞」というコーヒー店の紹介チラシを作成し地域のお店に配布する、といった取り組みを行っていました。

コロナ禍といった状況もあり、近年ではそうした取り組みも難しくなりましたが、それでも自分の思いを多くの人に伝えたい、好きなことを通して様々な人と関われる機会を今できるところから少しずつ作っていきたい…という賢治さんと支援者の思いの込められた作品となりました。

リバイバル上映の映像も含めて、本人と支援者それぞれが試行錯誤をしながら関係を築いていく過程が描かれており、職員としても日常的に関わっている利用者の方について改めて見つめなおし、日頃の支援を振り返る貴重な機会となりました。来年度もぜひ多くの方々に見ただければと思います。（記：寺島）





さんしょチャレンジ企画

デイキャンプ@水の森キャンプ場！

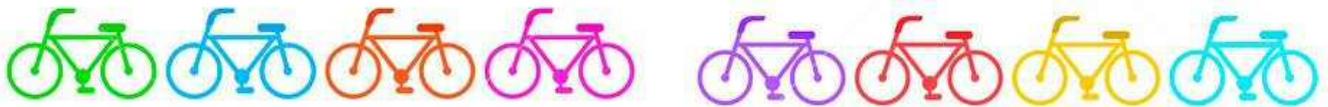
11月15日にさんしょグループのメンバーで水の森キャンプ場へデイキャンプに行ってきました。『キャンプ』はさんしょグループの今年度の目標であり、4月からキャンプ実現に向けて計画を立てて準備を進めてきました。



キャンプ場に到着後、テントを設営し、お昼ごはん作りを行いました。今回のメニューは、焼き鳥とフランクフルトとカレー、デザートに焼きマシュマロを作りました。炭火をおこし、網の上でフランクフルトや焼き鳥を焼くと、いい香りが♪庄司篤史さんや斎藤慎一さんは、味見をしながら焼きあがるのを待ちました。斎健二さんはキャンプ場に到着後からニコニコ笑顔になっていました。テント内には寝袋を敷き、実際に寝袋に入って寝てみました。

後藤彩也佳さんと長岡美空さんは、溶かしたチョコレートをつけた焼きマシュマロを食べました。もぐもぐとお口を動かして、美味しそうに味わっていました。お昼時間になり、カレーや焼き鳥、フランクフルトをみんなで食べました。やっぱり外でみんなで食べるご飯は最高ですよ♪皆さん、美味しそうにパクパク食べ、あっという間に完食でした。

今年度の目標である『キャンプ』が実現でき、さんしょメンバー大満足でした。また、デイキャンプに行きたいなと思います。(記：佐藤唯)



自転車で GO ! GO !

秋が深まってきた頃、サイクリングをしに名取サイクルスポーツセンターに行きました。

名取サイクルスポーツセンターは、スポーツバイクから二人乗り自転車や動物の形をしたものなど23種類の自転車に乗ることができます。

まずは、本格的なハワイアンが楽しめるレインボーカフェでランチを楽しみます。めいぷるグループの佐藤咲子さんは大きなエビが4匹乗っているプレートに舌鼓。

お腹を満たしていざサイクリング。カッコいいヘルメットを被り準備万端。一番張り切っていたのは今年還暦を祝う会を行った欣也さん。「転ばないかな」と不安げでしたが、いざ自転車に乗ると「お先〜♪」「抜かしちゃった〜♪」と誰よりも早く走っていました。



運動神経抜群の富田樹さんは咲子さんと二人乗り自転車に乗ったり、ジャンプしながらサドルを押すと走るおもしろ自転車に挑戦！さすがの運動神経、変わった自転車でもすぐに乗こなしています。

最後に、咲子さんが「楽しい時間を過ごすことができました」と従業員さんにご挨拶。皆さんも、つどいの利用者さんのように色々な種類の自転車に名取サイクルスポーツセンターに行ってみませんか？ (記：松原)



秋を満喫！！りんご狩りー

食欲の秋ー！ ということで、果物好きの利用者さんと農業園芸センターにりんご狩りに行ってきました。コロナウイルスの影響で、外食を伴う1日外出がほとんどできていなかったため、久しぶりのお出かけとあってみんな楽しみにしている様子です。



笑顔の写真を見てもらえば皆さんの満足が伝わってくると思います。りんご狩りも楽しんでいたようですが、やっぱり同じグループのみんなと外出できること、外食を楽しむことができるのがうれしかったようです。日中活動で笑顔が多くみられるよう頑張っていますが、外出の楽しみはやっぱり別物なんだなあ〜と改めて感じました。

(記:佐藤智)



またまた開催！

奈美祭り 2021 冬



けやきグループの中で恒例のイベントになった奈美さん主催のお祭り「奈美祭り」がクリスマスイブに行われました！お祭り大好きな奈美さん。冬の部でも構想を練る段階からわくわくドキドキが止まらず、話し合いから大盛り上がり！奈美さんは大笑いしながら構想を練っていました。今回のテーマは、気持ちはコロナに負けず、クリスマスをみんなで楽しもう！暗い気持ちは吹き飛ばそう！という事で、暗いイメージのある黒色をあえてメインにし、黒色でも煌びやかにと「ブラッククリスマス 奈美祭り2021年冬」に決定しました。

最初はディズニークリスマスパレードの曲に合わせて、奈美さんが「ブラッククリスマス」をイメージした、キラキラした手作り衣装を着てパレード。周りのみんなには一緒にパレードにぞくぞくと入ってきてもらい、場を盛り上げてもらいました。次に、奈美さんから各グループへ依頼した、クリスマスツリーの願い事パネルをサンタとトナカイと共に集めに行き、みんなの願い事が叶うようにと廊下に奈美さんが掲示しました。その後、衣装を着た奈美さんと一緒に記念写真をパシャリ。午後からは、奈美さんがサンタとトナカイと共に各グループへクリスマスプレゼントを渡しにいき奈美祭りを終わりました。その日は奈美さんだけでなく、他グループメンバーの笑顔も見られ、忘れられない1日になりました。なかなかコロナウイルスの収束は見えませんが、こんな時だからこそ、みんなで盛り上がる活動を続けていけたら嬉しいなと感じました。

(記:竹浦)

つどいの家【実践発表会】



12月1日(水)『つどいの家【実践発表会】』を開催しました。法人内全事業所をオンラインで繋ぎ、職員全体で聴講しました。今年度のテーマは「支援」で、9事業所がこのテーマに沿った内容を発表。各事業所の「施設系」、「地域系」などの特色を活かした、利用者寄り添った支援の様子が見られ、利用者の笑顔や、職員の情熱が伝わってきました。利用者一人一人に向き合う支援は、利用者の充実した生活(活動)を実現するだけでなく、支援した職員の成長、スキルアップにも繋がっていると思えました。

私たち「仙台つどいの家」は、医療的ケアの必要な利用者への支援「介護職員による喀痰吸引等実施について」を発表しました。看護師以外の介護職員が吸引等のケアを実施することで、看護師が傍にいらなくても、近隣の散歩や短時間の外出などが可能となり、利用者の活動の幅が広がります。喀痰吸引等実施について、家族や介護職員、看護師の思いをインタビューして、それぞれの思いがあって吸引等のケアを実施していることが分かりました。



今回の実践発表会で、各所の取り組みや支援への熱意を学び、職員全体の意識が変化、向上したと思います。今後も利用者により良い生活、活動を目指しながら、日々支援をみんなで行っていききたいと思います。(記：佐藤和)

web

研修会

法人ハラスメント基礎研修

○ハラスメント＝「いやがらせ」「いじめ」

セクハラ、パワハラ…遂にはコロナハラスメントという言葉まで耳にするようになり、すっかり耳馴染みのある言葉になってしまいましたが決して良い印象の言葉ではありません。どんなコミュニティでもこの問題については避けては通れない社会問題となった今、私たちも、より良い職場環境づくりのために学ぶ機会を頂きました。

昨年末12月17日(金)法人全事業所全職員を対象とし、オンラインで「ハラスメント基礎研修」を実施しました。当日受講できなかった職員は後日記録映像を視聴するという完全参加で法人全職員が学びの時間を共有しました。

ハラスメントについての概論から判例をもとにしたエピソードなど非常に説得力のある講義をして頂いたのは作田法律事務所の作田憲護弁護士。「自分がされて嫌なことは相手にもしない」「立場や職位が違えど相手を尊重し、まずは自分の襟を正すこと」支援者として利用者さんの前に立つときの姿勢とも符合する内容に、はっとさせられたお言葉でした。より良い関係づくりのため、ハラスメントにばかり意識を割くのではなく、相手をどのように尊重することができるかという視点で対人関係を構築することの大切さを改めて教えて頂いた実りある時間でした。(記：堀内)

Close-up! 彩也佳さん!!

今回の Close-up ! はさんしょグループの後藤彩也佳さんです。

彩也佳さんは、吸引や気管切開・胃瘻の医療的ケアの必要な方ですが、出かけることが大好きでいろいろなことにチャレンジする元気なお姉さんです。ブランコに乗る、電車に乗る、バスに乗る、船に乗る、そり滑り等、活発な動きが大好きです。

美味しい物にも目がなく、フレンチは大好きで、スープやスイーツを食べやすく調理をして頂いています。そんなみなさんのおかげで、コンソメスープにはまっていて、飲み比べをしています。今までで一番と思ったのは、やっぱりウエスティンホテルのコンソメスープです。帰宅後も香りの余韻が残りました。

これからも、いろいろなことに挑戦して行きます。彩也佳さんを見かけたら、どんどん声をかけてくださいね! みんなをやさしい笑顔にしてくれますよ!

(記: 角田)

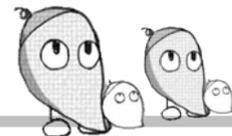


職員コラム

今回は…阿部真鈴さんです!

昨年4月に仙台つどいの家に入職しました、阿部真鈴(あべまりん)です。今回職員コラムを…とお声がけ頂き、何を書こうかなあと悩んでいたのですが…私の趣味についてお話ししたいと思います。

私はK-POPが好きで、暇な時間(ほぼ毎日ですが…)はず~っと聴いています。ご飯を作りながら踊ったり、洗濯物を畳みながら口ずさんだり…とにかくテンションが上がる! 音楽だけでなく、オーディション番組を見るのも好きです。高校生や中学生など私よりも若い人たちが嬉し涙、悔し涙を流している姿を見て私もつられて号泣しています。niziUをきっかけ(?)に最近では地上波でもオーディション番組をしているのを目にしますが、個人的に韓国のオーディション番組は格別だな~と思っています。歌唱力、表現力のために厳しい練習はもちろんですが、見た目を重視されていて、食事制限、体重制限は当たり前……そんな生活、私だったら耐えられない! でも苦しみながらも努力している姿を見て、私も何か頑張ろうと勇気づけられている日々です。



スケジュール schedule

令和4年 2月

- 7日(月) ケース会議 13:30 降所
- 10日(木) 音楽療法、生け花
- 15日(火) 防災ネットワーク訓練
- 16日(水) 施設懇談会
- 18日(金) ケース会議 13:30 降所
- 24日(木) 音楽療法、生け花、職員会議



令和4年 3月

- 8日(火) ケース会議 13:30 降所
- 10日(木) 音楽療法
- 15日(火) 防災ネットワーク訓練
- 17日(木) 施設懇談会
- 24日(木) 音楽療法
- 28日(月) 職員会議
- 31日(木) ケース会議 13:30 降所

ご協力ありがとうございます

ボランティアとして協力して頂いた皆様

(11月15日～令和4年1月13日まで)

吉田さん、千年さん、京子さん

見学・来訪者など

音楽療法向井田先生、生け花浜谷先生、東北福祉大村山ゼミ、西多賀支援学校の先生・生徒・保護者、ハンズ仙台、アグリ仙台、やさしい手、あいの実、GHアポクレ、東北生活文化大学生、JCI 瀬戸さん、風の郷福祉工房、千葉商店、バイタルネット、ヤクルト、マルイ、マルキ水産、サトー商会、ダスキン、ほまれフーズ、東北食材、ハート総合自動車、グリストラップ、福島大阿住さん、共栄防災、理想科学工業小柴さん、すてっぷ、とびら、ぺんたす、くれよん、見学(工藤さん)、コペル利用者、アプリ利用者

法人職員：佐藤(吉)、飯田、佐々木健

ほか多数

(以上、ご芳名順不同)

缶回収

11・12月の納品額

合計 2,800円でした。

ご協力ありがとうございました。



編集後記

新年を迎え、みなさんはどのようにお過ごしですか？

今年は雪も降り、寒い毎日が続いていますね... 私は雪が降った日は子ども達と雪だるまを作ったり、ソリ遊びを楽しんでいます(*^-^*)

そして、今年は寅年ですね~♪我が家の娘も年女で成長の早さを感じてしまいました。

今年こそは、コロナが終息してみんなで楽しめるといいですねー(^o^)(記：菊地)